



第68回

全国植樹祭

とやま2017

かがやいて水・空・緑のハーモニー

5月28日、富山県魚津市の魚津桃山運動公園で「第68回全国植樹祭 とやま 2017」が行われました。全国植樹祭は、天皇后両陛下の御臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。富山県では昭和44年に砺波市頼成で開催された第20回大会以来、48年ぶり2回目の開催となりました。

式典前のプロローグでは、立山連峰から富山湾までのダイナミックで変化に富んだ富山の地形がもたらす、豊かな自然や文化を表現した映像や創作舞踊が上演されました。

式典では、大会会長の大島 理森 衆議院議長（国土緑化推進機構会長）よりあいさつがありました。その後、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰が行われ、山本農林水産大臣などへ花とみどりの少年団から苗木の贈呈が行われました。



花とみどりの少年団からの苗木の贈呈(提供:富山県)



植樹祭のシンボル「木製地球儀」を手渡すセレモニー(提供:富山県)

両陛下のお手植えでは天皇后陛下はタテヤマスギ、コシノヒガン、ヒメコマツの苗木を、皇后陛下はコシノフユザクラ、キタコブシ、ホオノキの苗木をそれぞれ植樹されました。また、お手播きでは、天皇后陛下はエドヒガンとタブノキ、皇后陛下はヤマザクラとマルバマンサクの種子を播かれました。

国土緑化推進機構の佐々木 毅 理事長による森林の恵みと美しいふるさとをこれからの世代に引き継ぐための決意を述べた大会宣言と、石井 隆一 富山県知事から来年全国植樹祭が開催される福島県の内堀 雅雄 知事に植樹祭のシンボルである「木製地球儀」等を手渡すセレモニーで幕を閉じました。なお、木製地球儀は平成13年に富山県の井波彫刻協同組合が製作したもので、同年の全国植樹祭(山梨県)以降、次期開催地にリレーされています。

次の第69回全国植樹祭は、来春、福島県南相馬市を主会場に開催される予定です。